

全国学力・学習状況 調査結果

実施日	令和3年5月27日
調査学年	第6学年86名
調査内容	国語 算数 児童質問

1 調査結果概要（国語）

国語 学習指導要領に示されている「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」の内容に基づき、全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選。

	平均正答数	平均正答率
本校	9. 3 / 14	67. 0%
東京都	9. 5 / 14	68. 0%
全国	9. 1 / 14	64. 7%

正答率が高かった問題

1 調査結果概要（国語）

大問1の小問一

目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるか。

正答率

80.2%

（国+2.7）

話の内容の構成について、事実と感想、意見と区別されていることを理解することができていた。

叙述を基に、事実と感想、意見について、中心となる語や文を手掛かりに考える指導を行ってきた成果。

正答率が高かった問題

1 調査結果概要（国語）

大問2の小問一

文章全体の構成を捉え、
内容の中心となる事柄を
把握することができるか。

正答率

81.4%

（国＋3.8）

文章全体の構成について、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基におさえ、文章全体の構成を捉えることができていた。

叙述を基に、事実と感想、意見について、中心となる語や文を手掛かりに考える指導を行ってきた成果。

正答率が低かった問題

1 調査結果概要（国語）

大問2 小問三

目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を取り出して書く。

正答率 37.2%
(国 +2.8)
無解答率 8.1%
(国 -4.0)

目的や意図に応じ、文章と図表の関係を捉え、必要な情報を取り出して書くことに課題がある。

文章から図表にある必要な情報を取り出すことができるように読む指導を徹底する。

正答率が低かった問題

1 調査結果概要（国語）

大問2小問四

目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約できるか。

正答率 24.4%
(国 -5.3)
無解答率 9.3%
(国 -3.8)

目的を意識して、中心となる語や文を見付け、さらに要約することに課題がある。

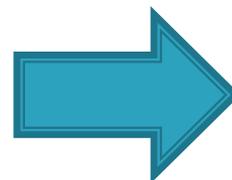
中心となる語や文を見付けることを繰り返し、その後や文から要旨をまとめる指導を徹底する。

言語活動の問題の傾向

1 調査結果概要（国語）

大問3の小問三

主語と述語の関係

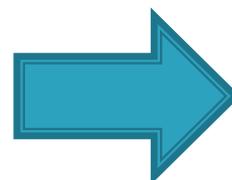


正答率

68.6%

(国+1.6)

修飾と被修飾の関係



50.0%

(国+6.4)

主語と述語の関係を理解し、基本的な文の構成は理解しているが、
修飾と被修飾の関係を理解して文を理解することにやや課題がある。

文を読んだり書いたりする時に、主述の関係を意識させるとともに、文を詳しくする言葉など修飾語を意識させて指導する。

本校の実態と課題

目的や意図に応じて、中心となる語や文を見付けて文章を読む力は身に付けることができてきた。

中心となる語や文を見付けて読み、目的を意識して要旨にまとめたり、読み取ったことから、自分の考えを整理して書くことに課題がある。

指導改善のポイント

文章を読む時に、中心となる語や文を見付け、主述の関係を確かめながら、叙述に即して読む授業を展開する。

説明文では、中心となる語や文から要旨をまとめる力を、文学的文章では、中心となる語や文から作者の意図を読む力を読み解く授業を展開する。

2 調査結果概要（算数）

算数 学習指導要領における「数と計算」、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題。

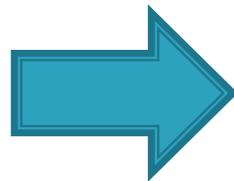
	平均正答数	平均正答率
本校	11.2 / 16	70.0%
東京都	11.8 / 16	74.0%
全国	11.2 / 16	70.2%

正答率が高かった問題

2 調査結果概要（算数）

大問1の小問一

二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答を式や言葉を用いて表す。



68.6%
(国+6.1)

それぞれのコースの道のりを求めるために、必要な情報を取り出すことができています。

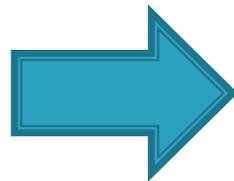
問題の題意を理解し、必要な情報を取り出して計算する指導を徹底した成果。

正答率が高かった問題

2 調査結果概要（算数）

大問2の小問三

三角形の性質を用いて、
平行四辺形の面積を求
めることができるか。



53.5%
(国 + 7.5)

図形の性質を理解し、図形を構成する要素
を活用して面積を求めることができている。

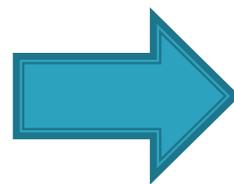
基礎事項の理解を徹底し、獲得した知識を活用す
る問題を重点的に取り組ませた成果。

正答率が高かった問題

2 調査結果概要（算数）

大問3の小問二

棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるか。



91.9%
(国 + 1.2)

グラフや表から、必要な情報を取り出して、その関係について理解することができる。

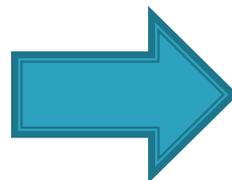
図表を読み取る際、必要な情報を取り出させ、その関係について捉えることができるよう指導した成果。

正答率が低かった問題

2 調査結果概要（算数）

大問1の小問四

条件に合う時刻を求め
ることができるか。



81.4%
(国 - 7.8)

小問二の時間の問題平均を下回っており、時刻と時間に関わる数学的活動に課題が見られる。



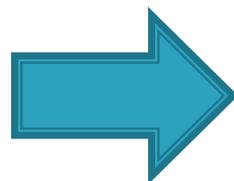
時刻と時間に関わる数学的活動を取り入れるとともに、日常生活において時刻と時間に関わる活動を取り入れていく。

正答率が低かった問題

2 調査結果概要（算数）

大問2の小問二

複数の図形を組み合わせた図形の面積について、図形の性質を理解しているか。



65.1%
(国 - 7.4)

図形の面積の性質から分割や移動しても量の変化はない、保存性や加法性の性質が十分に理解されていない。



図形の面積の求積を計算で求めるだけでなく、操作活動を取り入れるなどして、基本的な性質を理解させるよう展開する。

正答率が低かった問題

2 調査結果概要（算数）

大問4の小問三

小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を説明できるか。

54.7%

(国 + 3.2)

無回答率 8.1%

小数の場合も整数と同様に、基準量を1としたときに比較量がいくつにあたるのか言葉や数を用いて説明することに課題が見られる。

基準量・比較量の問題の繰り返しとともに、数直線を活用して視覚的に捉えさせ、なおかつ言葉や数を用いて説明する活動を取り入れる。

本校の実態と課題

表やグラフの読み取りや、数量の変化の比較など、必要な情報を取り出して、題意を捉えることができている。

一つの事柄から複数に組み合わせた事柄へと、獲得した知識を活用し、説明する力が課題である。

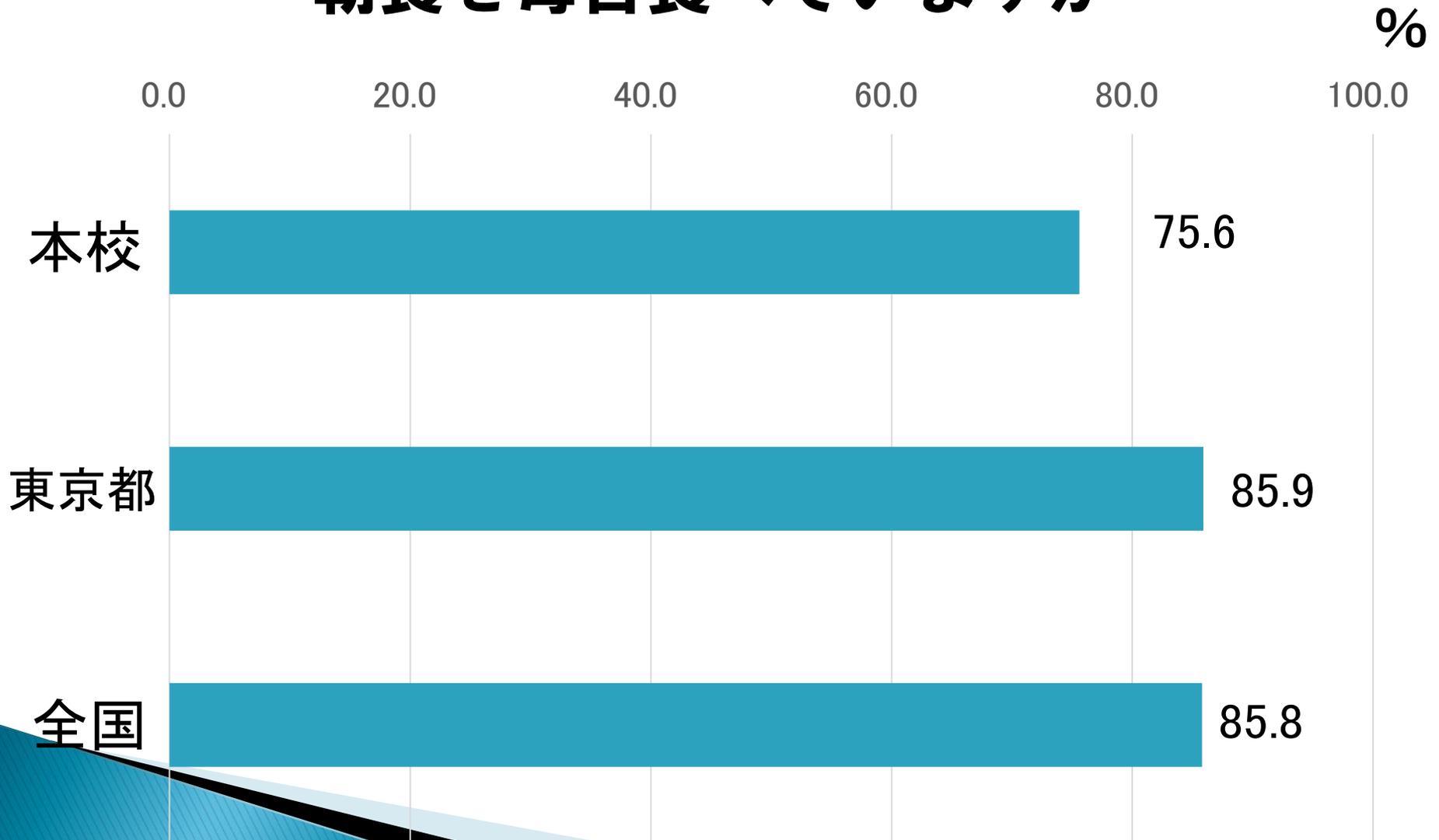
指導改善のポイント

算数的操作活動を取り入れたり、数直線や図表を活用したり、答えを導くまでの過程を十分に行った授業を展開する。

一つの事柄だけでなく、獲得した知識を生かし、複数の事柄を関連付けて考える授業を展開する。

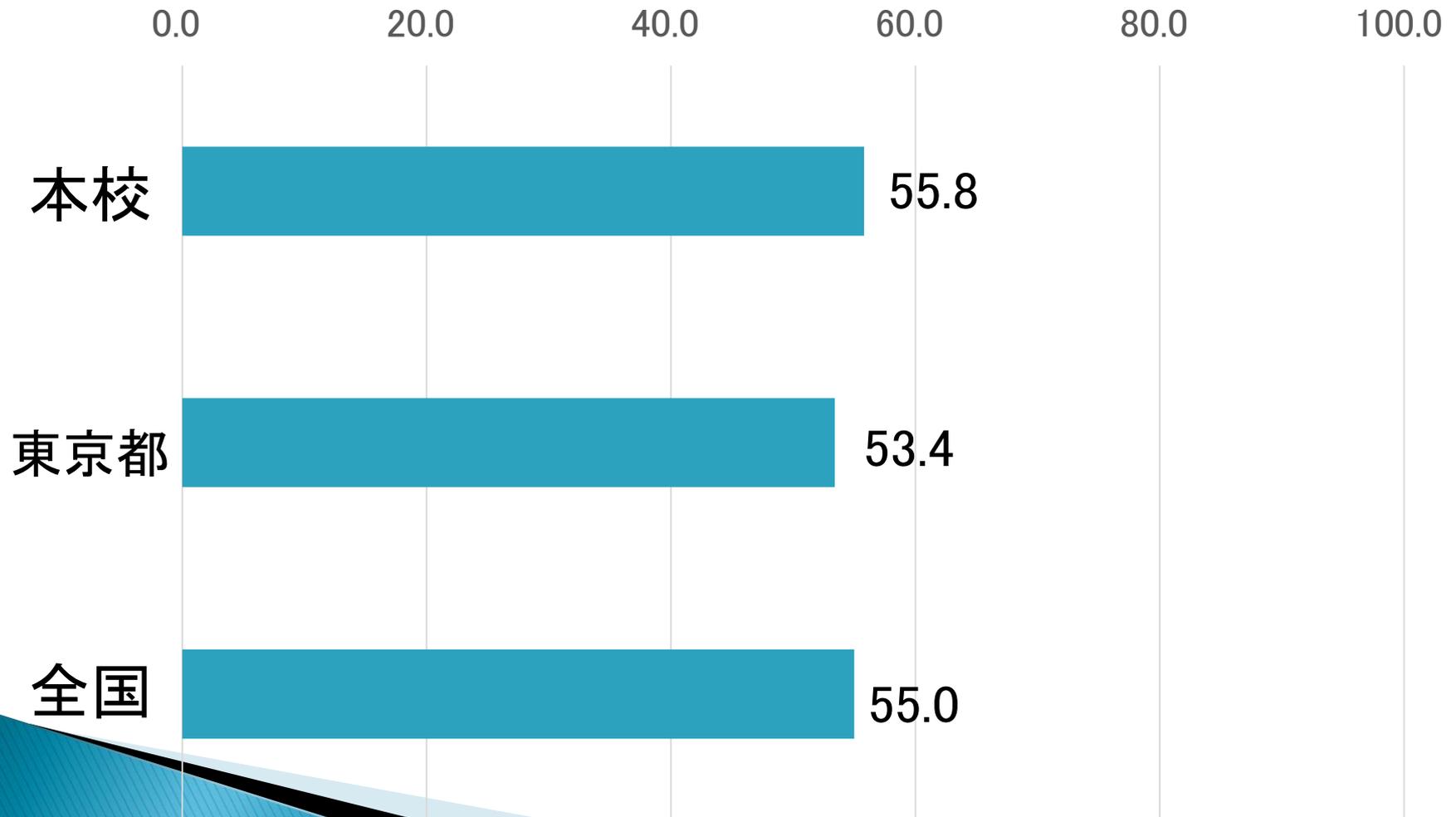
3 児童質問紙の結果

朝食を毎日食べていますか



3 児童質問紙の結果

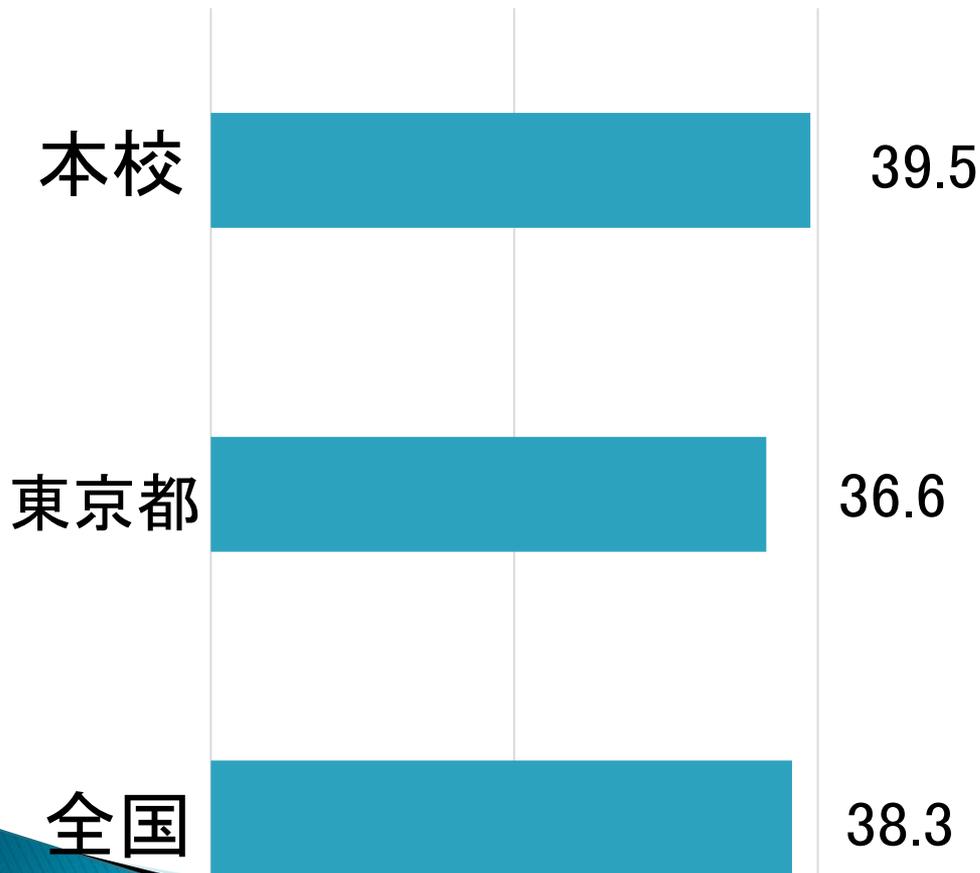
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか %



3 児童質問紙の結果

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか %

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0



本校の実態と課題

**生活リズムの確立が課題である。
一昨年度より数値が低下している。
今後継続した取組が必要。**



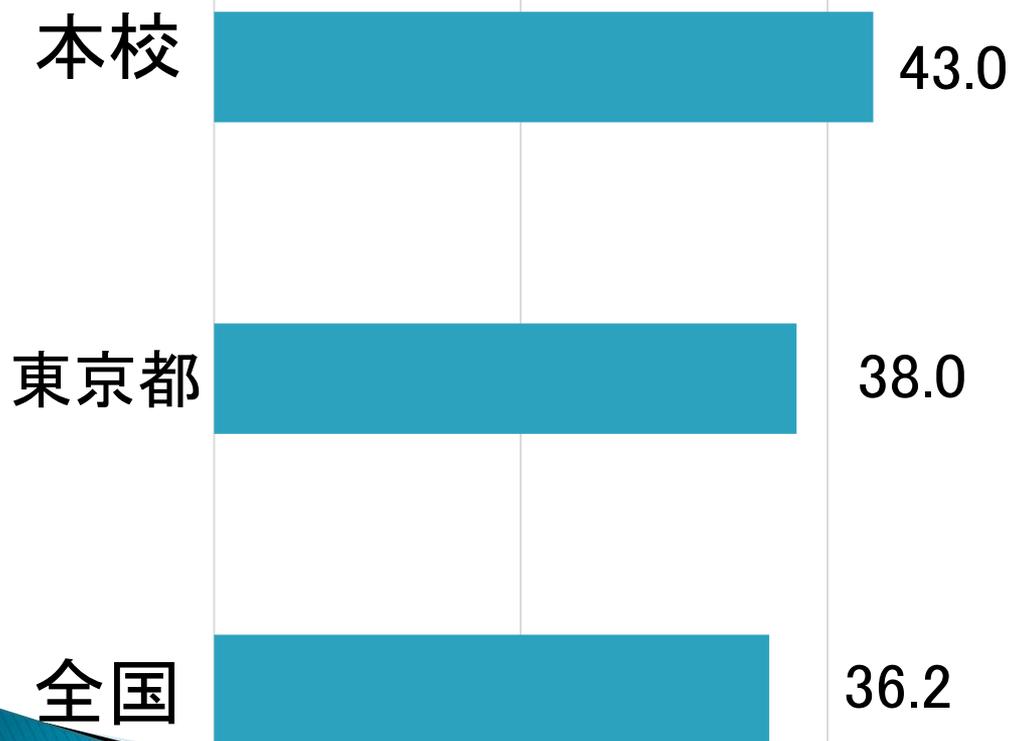
**生活リズムの向上は
学力向上に影響がある**

3 児童質問紙の結果

自分にはよいところがあると思いますか

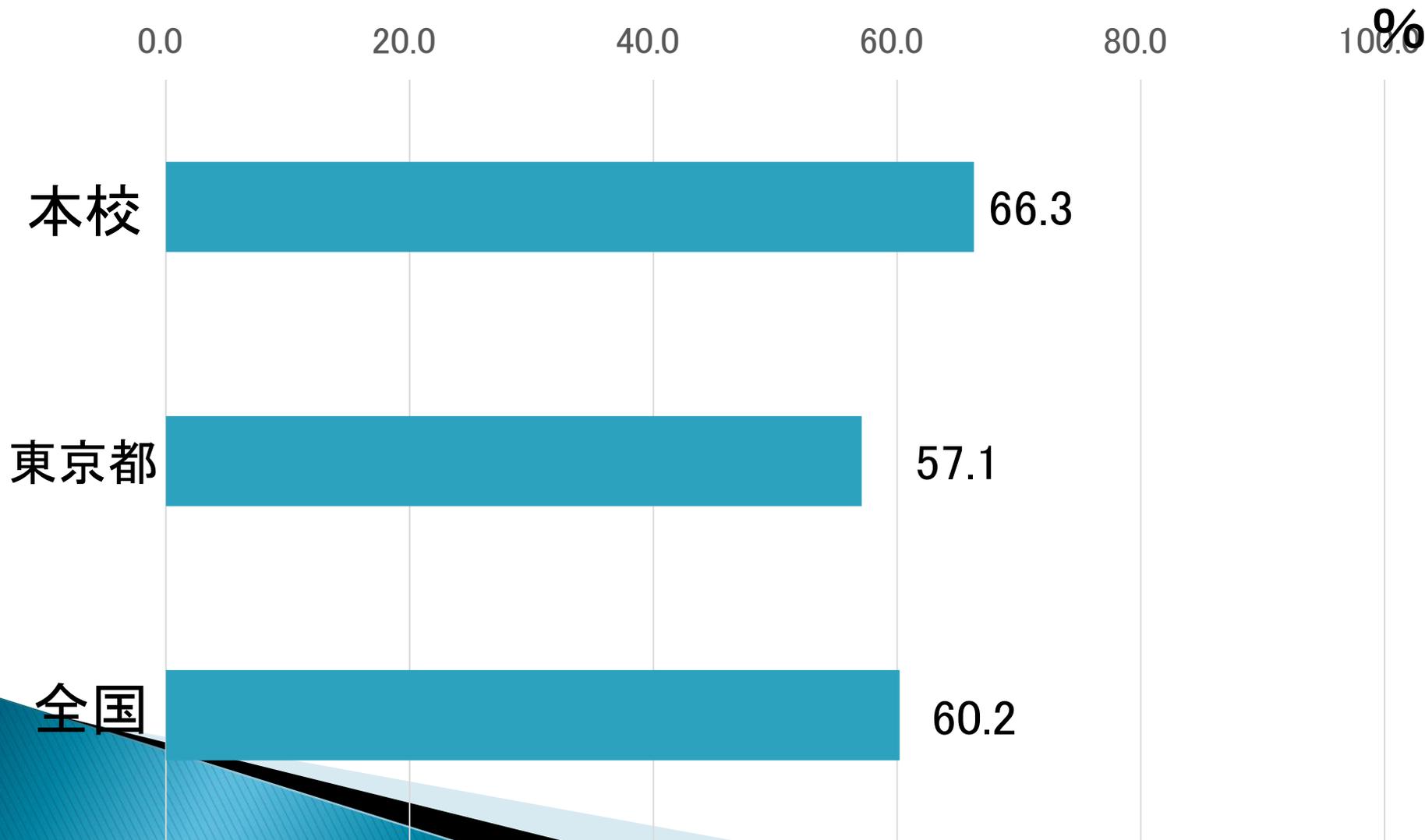
%

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0



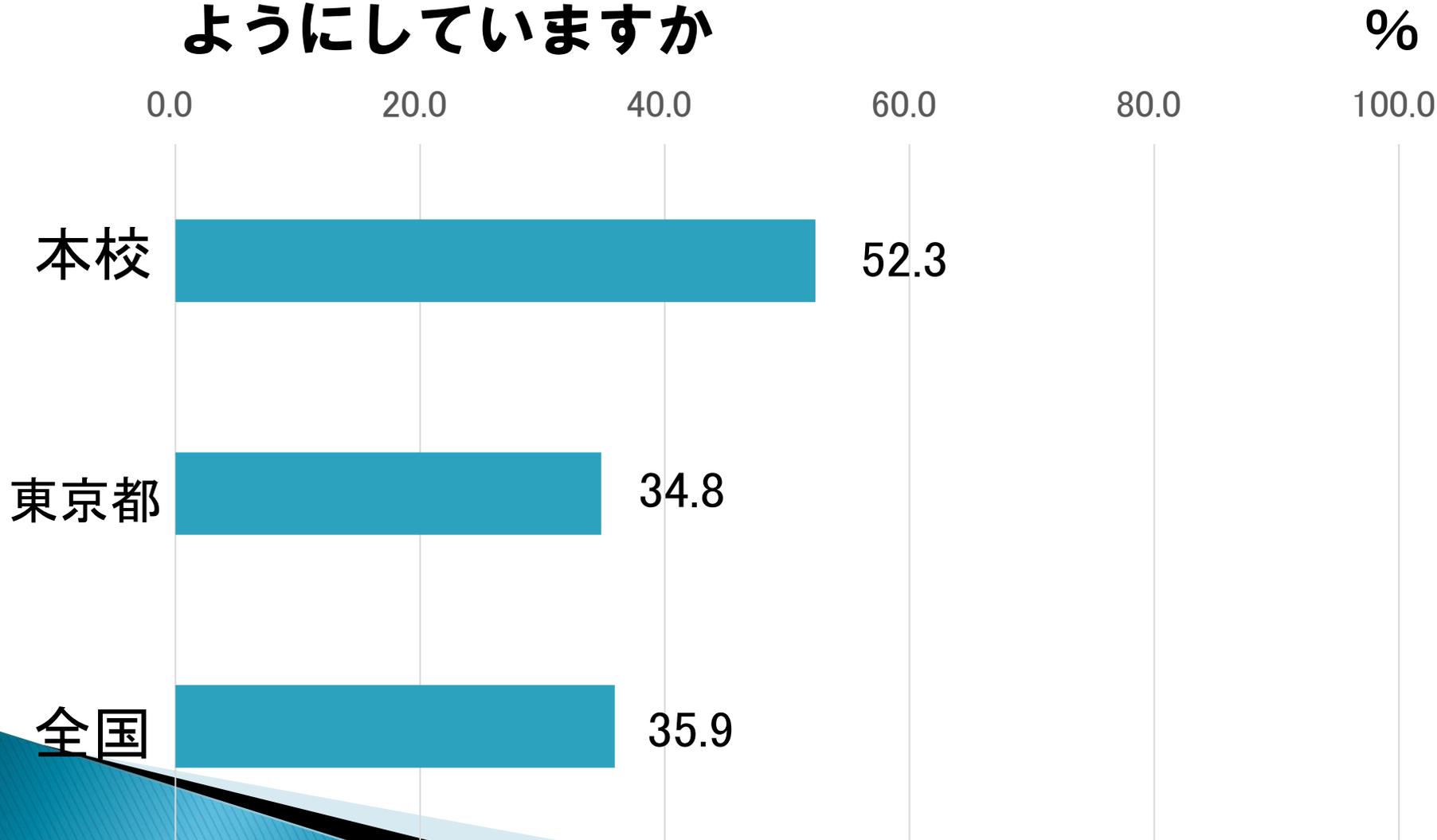
3 児童質問紙の結果

将来に夢や目標をもっていますか



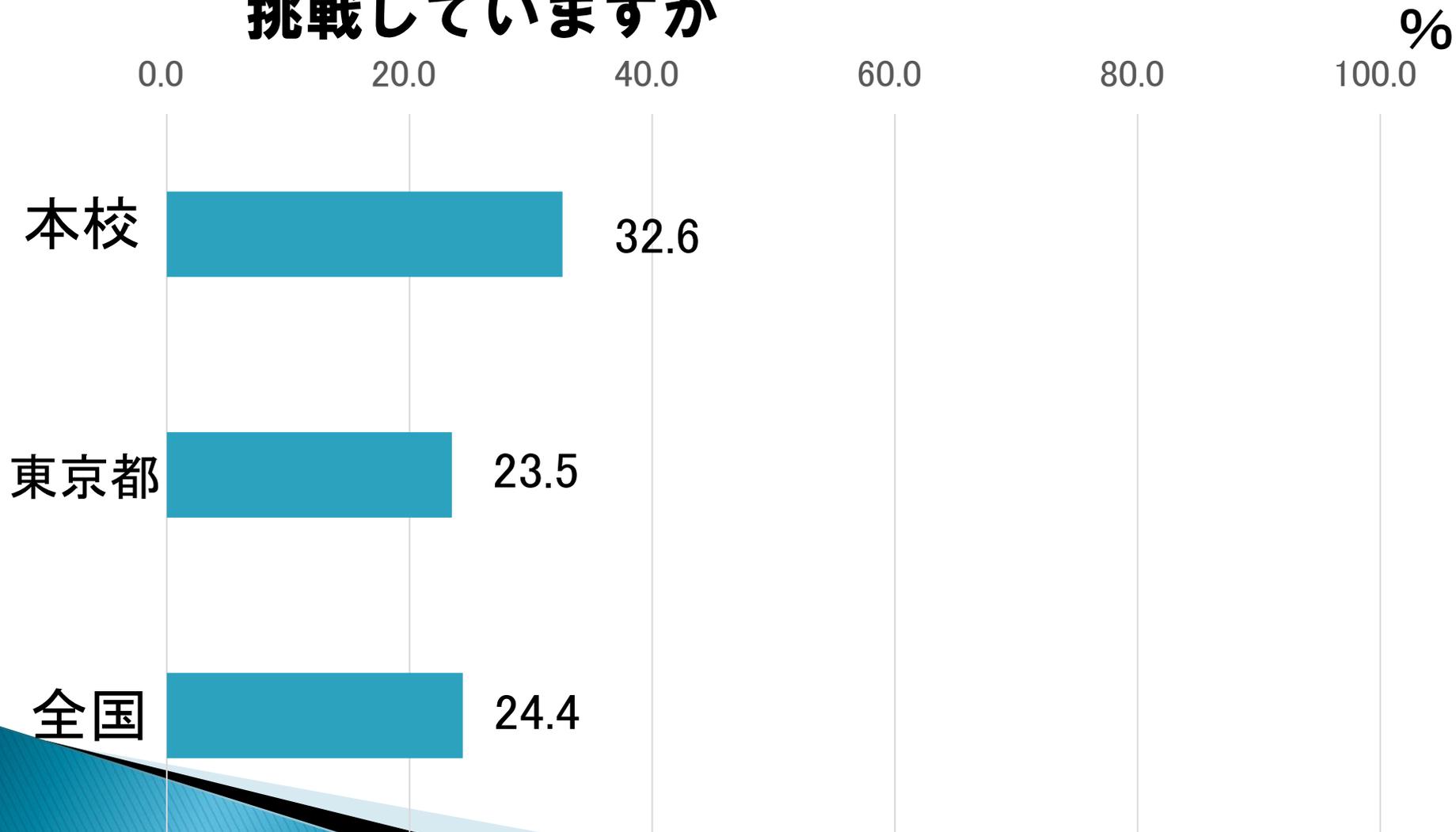
3 児童質問紙の結果

自分でやると決めたことは、やり遂げる
ようにしていますか



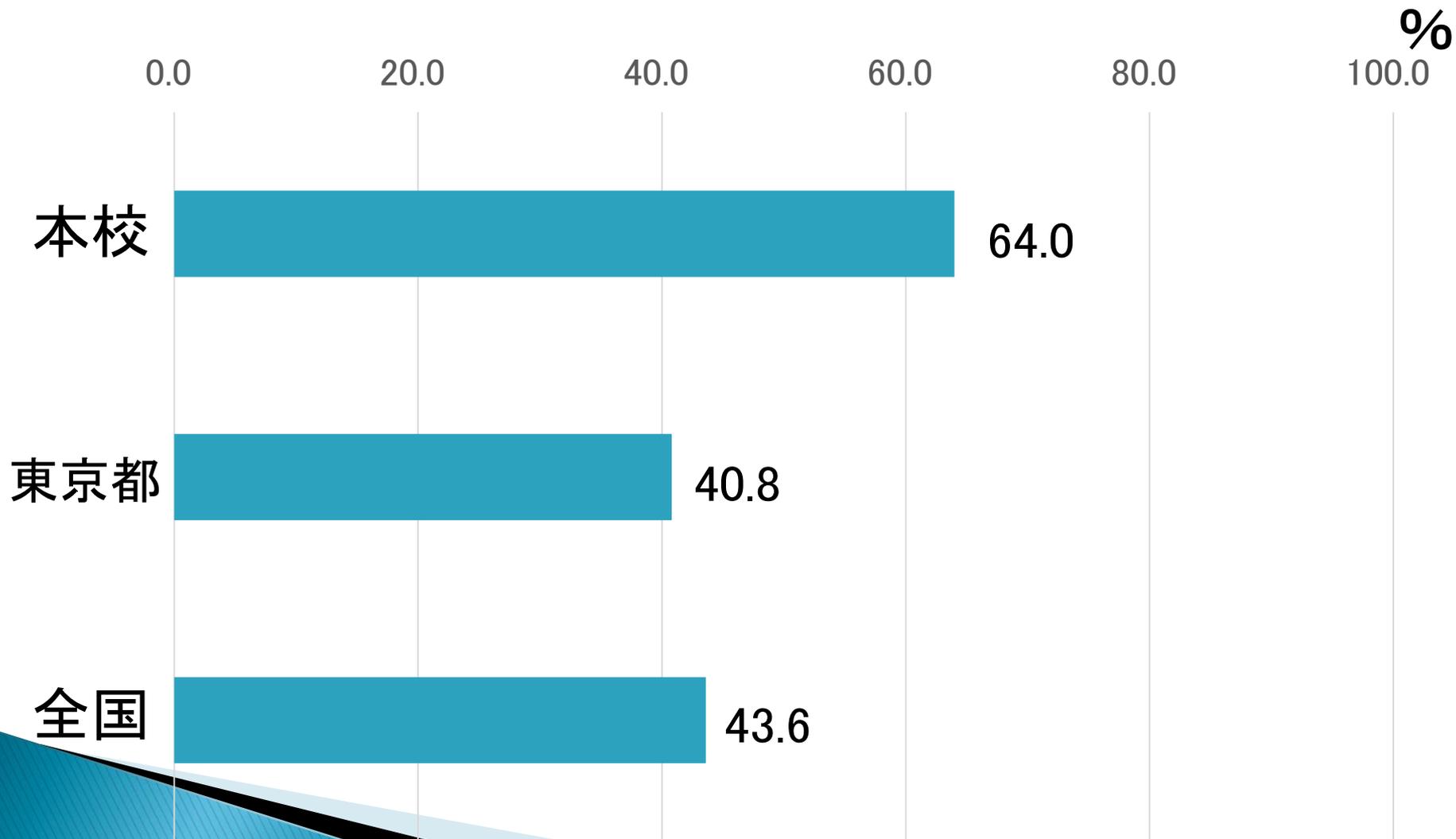
3 児童質問紙の結果

難しいことでも、失敗を恐れなくて
挑戦していますか



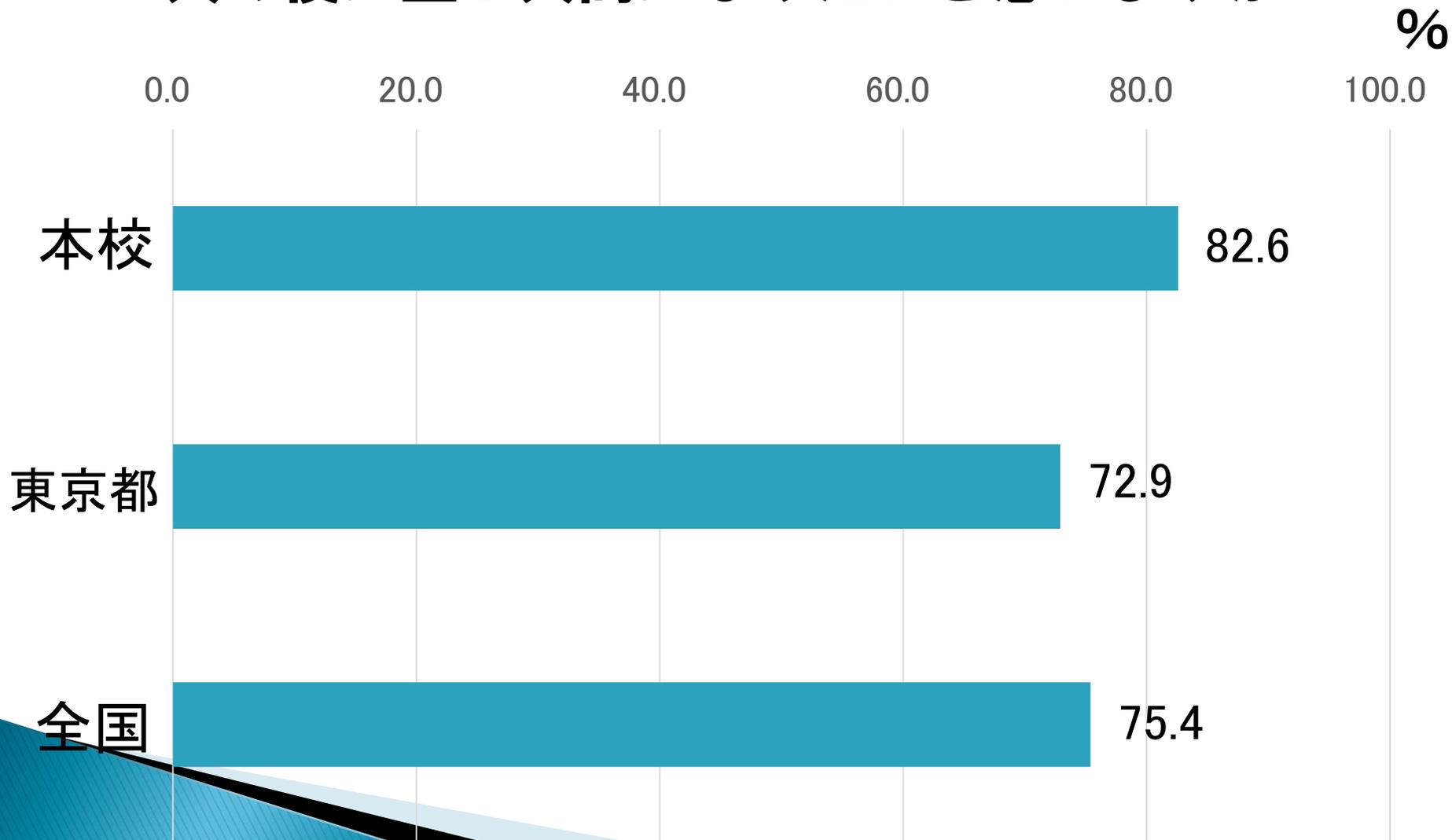
3 児童質問紙の結果

人が困っているときは、すすんで助けていますか



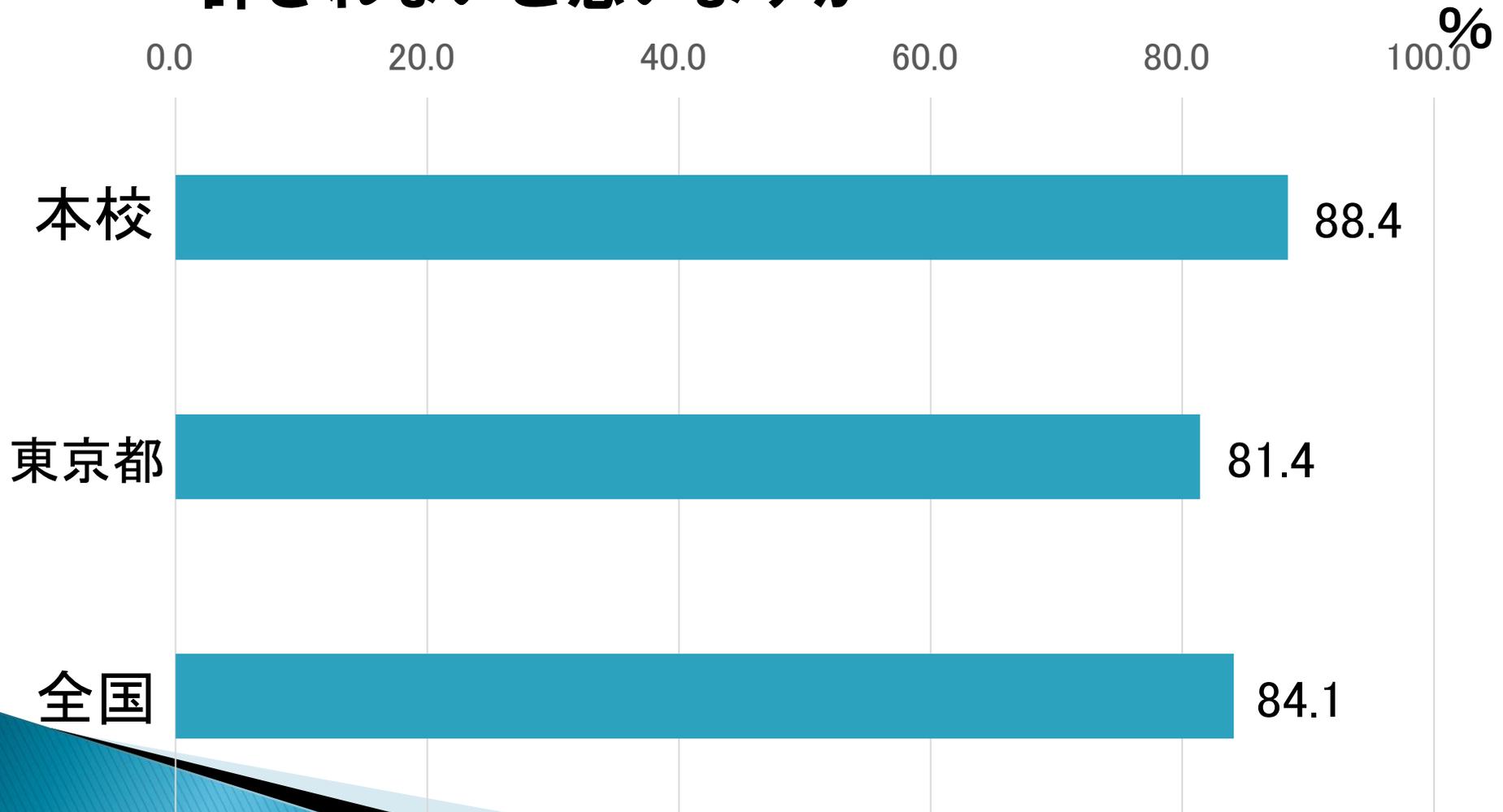
3 児童質問紙の結果

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



3 児童質問紙の結果

いじめは、どんな理由があっても
許されないと考えますか



本校の実態と課題

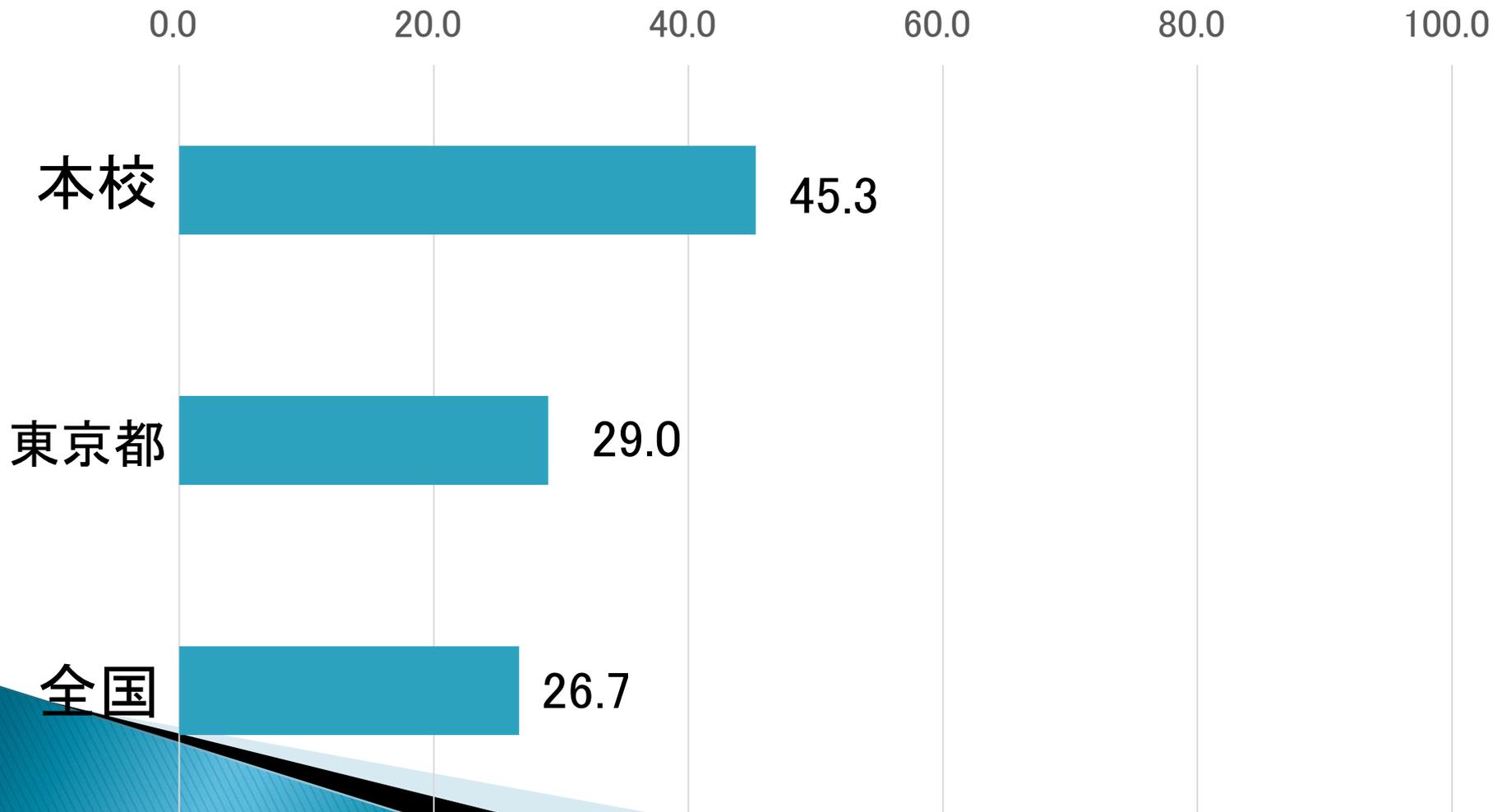
どの項目も都や国と比較すると数値は高い。しかし、さらに自己肯定感を高める指導は必要である。



自己肯定感を高めること
乗り越える力を醸成すること

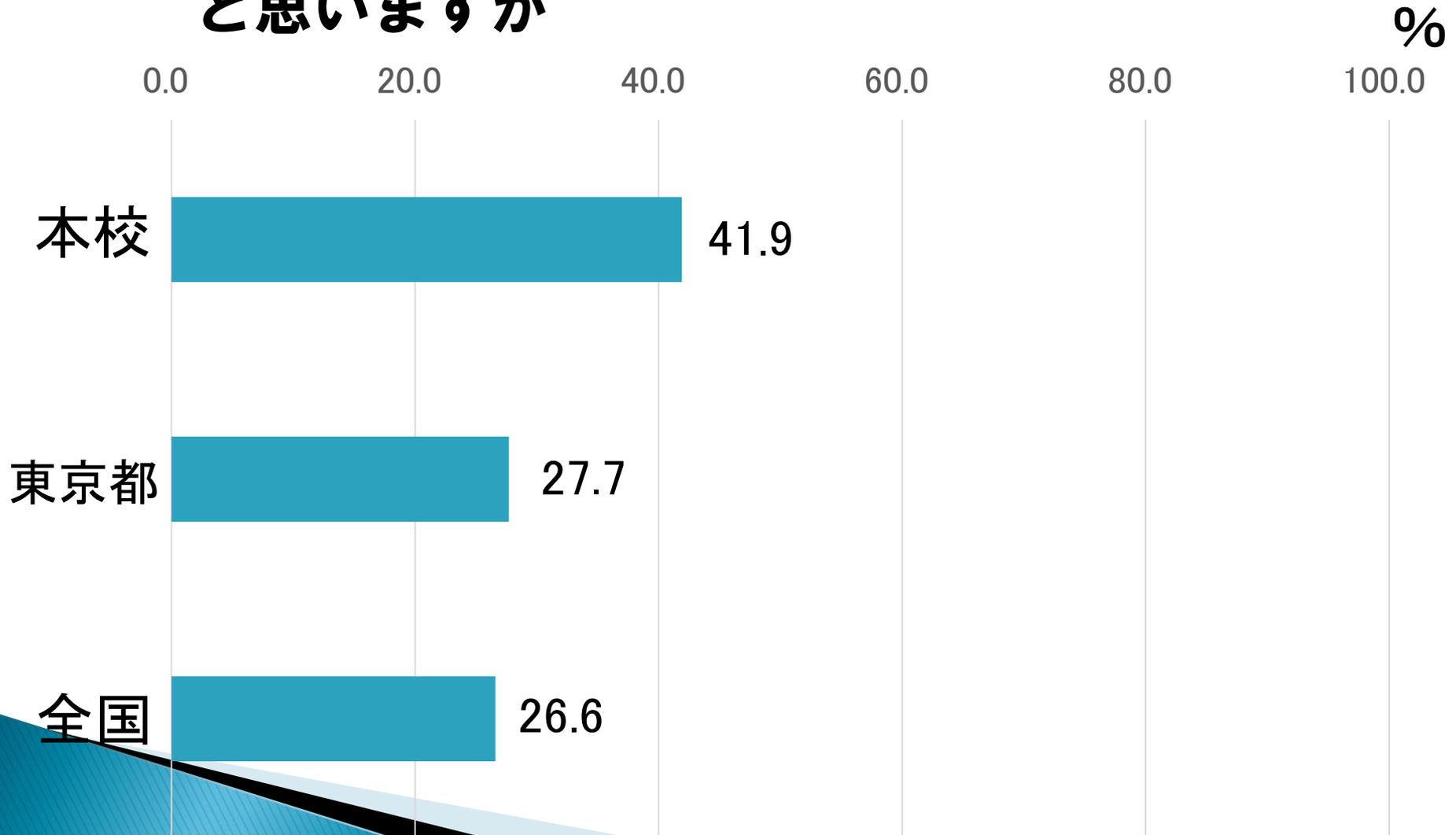
3 児童質問紙の結果

自分の思っていることや感じていることを
きちんと言葉で表すことができますか %



3 児童質問紙の結果

自分と違う意見について考えるのは楽しい
と思いますか



本校の実態と課題

3 児童質問紙の結果

どの項目も都や国と比較すると数値は高い。しかし、さらに自分の思いをしっかりと表現し、相手の考えを受け止める心を育む。



自己の考えをもって表現する
相手の考えを受け入れる心情